

生涯学習

研究部だより

No. 2

小学部の授業づくり
「エンジョイタイム」の
実践
～学部を越えた
学びの積み重ね～



今年度は、学部を越えた縦割りのワーキンググループでの研究を主としている。本研究は、児童生徒の「生涯学習力を高める」ことを目的としている。つまり、ワーキンググループでの成果を日々の授業づくりに結び付けることが肝要である。そのためには、学部ごとに展開されている学習を各々が知る必要があり、各学部の授業を全校で見合う機会が必要と考え、各学部主催の研修会や研究を行うこととした。

全校エンジョイ研修会（小学部） 7月



「エンジョイタイム」とは？

昨年度の研究より

小学部段階では

教師が将来地域で暮らす児童の姿を具体的にイメージし、児童が活動に没頭、熱中する学習を設定し
児童の興味・関心を広げることが大切である

生涯学習力の素地となる「学ぶ・知るって楽しい！」と思える学習を設定する



R 3年度

児童が一人一人安心した環境の下、身近な友達や教師と一緒に、
様々なヒト・モノ・コトとの関わりを通して、
興味・関心を広げたり、深めたりすることを主眼とした学習

「エンジョイタイム」を設定した。

「エンジョイタイムの実施について」

◆週1時間生活単元学習の学習の中で、学級単位や学部単位で行う

「エンジョイタイムを進める上で大切にしていること」

◆新しいことや様々なことをやってみる機会を設定する

◆好きなことを深められるように、活動にじっくり取り組む時間を設定する

◆少しずつ地域（自分の住む世界）を広げられるように、他学部の生徒や職員、生涯学習奨励員を活用する

提示授業

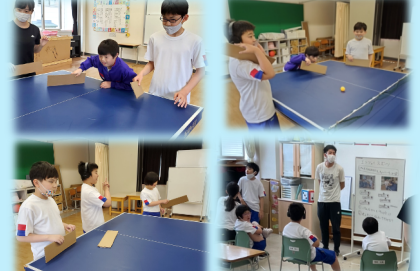
ふたば学級（1・2年） 題材：カメラ



わかば学級（3・4年） 題材：染め物



あおば学級（5・6年） 題材：ニュースポーツ



授業研究会（協議）

各授業で見られた**児童の楽しんでいる姿**が他学部で検討した「生涯学習力が高まった姿（仮）」*の**何につながっているか**検討する。

生涯学習力が高まった姿（仮）につながる児童の楽しむ姿 | グループ

エンジョイタイムで楽しむことが出来る!!
エンジョイタイムは今もっているかを最大限に出せればいい!

自己有用感がある

達成感を得られる

試行錯誤している

向上心がある

自分から仮え、行動する

（先生と）互いに協力して学ぶ

エンジョイならでは、楽しむ姿という視点で見ると、今回はなかなか...
やりにくいことが分かる

自己理解ができています

情報を自分で得られる

得手不得手が分かる

<その他 授業の改善点等> Engioの位置付け → Engioの先に何を求めるのか

それぞれ項目のつながり、分類すると分かりやすい

初め、早くやるからかえりやすくなる

生涯学習力が高まった姿（仮）につながる児童の楽しむ姿 | グループ

（その他 授業の改善点等）

生涯学習力が高まった姿（仮）につながる児童の楽しむ姿 | グループ

（その他 授業の改善点等）

生涯学習力が高まった姿（仮）につながる児童の楽しむ姿 | グループ

（その他 授業の改善点等）

* 授業づくりWGが各学部における「生涯学習力が高まった姿」をキーワードで整理したもの。夏のセミナーでは、一度ブラッシュアップした形で提示した。

どの協議グループでも児童の学習で見られた姿が他学部のどのような姿に結び付くのか話し合うことができました。将来のどのような姿に結び付くかという根拠をもって学習を組み立てていくことの重要性が見てとれました。また、教育課程の位置付けや児童にとって教育的効果の高い題材の選定方法などについては、今後の改善点として挙げられました。学校として学びを積み重ねることが大事だということを確認しました。

